

提出日： 2026 年 6 月 29 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
商学部	准教授	垂井 泰子

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2025年4月 1日 ～ 2026年3月31日	1
	2. 2025年9月 1日 ～ 2026年8月31日	
	3. 2025年4月 1日 ～ 2025年9月20日	
	4. 2025年9月21日 ～ 2026年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	・米国コロンビア大学 Teachers College にて英語教授法の短期講座(TESOL Certificate Program)を受講し、修了した。Classroom Practices(英語教授法概論)、Second Language Acquisition(第二言語習得)、Pedagogical English Grammar(教育英文法)、Intercultural Communication(異文化コミュニケーション)、Second Language Assessment(第二言語評価法)の6科目について、前半の6週間は日本からオンラインで座学を学び、後半の4週間は現地で対面での講習と実習に参加した。 ・アメリカ出身の作家ヘンリー・ジェイムズ(Henry James, 1843-1916)の短編小説の研究に取り組んだ。ジェイムズの長い作家キャリアにおける短編小説の手法的・テーマ的な変遷に関心があるが、本研究期間中には特に“A Landscape Painter”(1866)と“The Third Person”(1900)の2篇に描かれるテーマに着目して研究を行なった。	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	次の論文を寄稿した。 「ヘンリー・ジェイムズの「風景作家」(1866)における「書くこと」と「描くこと」」『英語英米文学』第66集(中央大学英米文学会)、pp. 27-38(2026 年 2 月) また、次の報告を行う予定である。 The Sense of Place in “The Third Person.” The 10th International Henry James Conference, “Jamesian Ecosystems / Jamesian Organisms” ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ・バンクーバー)(2026 年 7 月 15 日)	
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。	
	英語教授法の知識は今後の授業実践に活かしていきたい。特に、英語教授法の中心的な手法であるコミュニカティブ・アプローチとより伝統的な訳読や復唱などの手法について、日本で英語を学ぶ大学生に対してどの部分が有効であるかを検証し、それを組み合わせて授業に取り入れて実践報告を行ないたい。 ヘンリー・ジェイムズの短編小説の研究を継続し、国内外で報告するなどして発展させたい。	